

第15回 国際バルク戦略港湾検討委員会
議事概要

日時：平成23年5月26日（木）10：00～11：20

場所：中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

○今回は、まず、東日本大震災に伴う物流への影響や、応募港湾等の被災状況について事務局からの説明をもとに意見交換を行うとともに、各応募港湾の提案に対する委員の最終的な評価について議論を行い、国際バルク戦略港湾の選定に向けた、委員会としての最終的な評価のとりまとめを行った。

○各委員からは、以下のような議論があった。

- ・ 今回の震災を受け、穀物等の輸入バルク貨物についても、他地域から被災地に内航フィーダー輸送が行われたり、企業間の連携が行われるなど、国際バルク戦略港湾で提案されている連携が一部先取りして実現しつつある。
- ・ 国際バルク戦略港湾選定後の取り組みについて、選定された港湾においては、3ヶ月を目途に「国際バルク戦略港湾育成プログラム」を作成してもらうこととなったが、被災港が選定された場合は、作成スケジュールに配慮する必要があるのではないか。

○本日の委員会での評価のとりまとめを踏まえ、今後、政務三役において議論を行い、国際バルク戦略港湾を選定することとなる。

以上